

### ◆研究概要等

近畿大学で教鞭をとる前には、外資系の通信社であるロイターで、取材して記事(英語、日本語)を書く記者、エディター、ニュース翻訳者として、東京・大阪・ロンドンで働いていました。その際に得た知見を土台として、記者教育のあり方を主な研究テーマのひとつとしています。また、記者としての能力を高めるために行う研修が、それ以外の職に就く人達にとっても効果をもたらすのではないかという仮定のもとに、どのような方法が望ましい効果を与えられるのかという点について、実践と分析を継続的に行っています。さらに、教員となった今でも記者であり続けているという意識を持っているため、さまざまな時事問題に目を向け、取材や分析の結果を新聞のコラム等に発表しています。

### ■ゼミの内容

金井ゼミでは、3年生から4年生にかけて実際の取材を経て3本の記事を書くことを行っています。3年生の前期には、自分が将来就きたいと願う職業に現在就いておられる人にインタビューを行って記事を書くことを通じて、「記者」の基本作業に慣れるだけでなく、学生自身の仕事に対する考え方を養うことも目指します。3年生の後期には、現在の社会の中で起きている何らかの現象の中からひとつ選び、それについて解き明かしたいナゾをテーマとして設定して、文献を参照しつつ、複数の人物をインタビューして、記事を書きます。さらに、4年生に進級すると卒業制作の記事に取り掛かります。基本的には3年生の後期と同じことを行いますが、インタビューしなければならぬ人物の人数や記事の文字数が増えていきます。

社会マスメディア系専攻  
教授

かないけいこ  
金井啓子

keikokanai@kindai.ac.jp



<http://researchmap.jp/keikokanai/>

<http://ameblo.jp/keikokanai/>

金井ゼミに所属した学生たちが、これまでに扱った記事のテーマの一部を紹介します。

- ・若者は本当に「さとり」いるのか  
～さとり世代の実態～
- ・謝罪力
- ・クラウドファンディングで地域再興！
- ・アニソン！～アニメと音楽～
- ・シェアハウスから見る日本の居住文化  
～「誰と、どんな風に」住む時代へ～
- ・同性愛嫌悪の日本における現状について
- ・なぜ、名作と呼ばれる映画は古いのか？
- ・日本のストレス社会
- ・Everyone, Creator  
～誰もがクリエイターになれる世界～
- ・日本人から見たメディカルツーリズム

### ●コラム執筆・テレビ出演等

ウォール・ストリート・ジャーナル日本版『金井啓子のメディアウオッチ』  
『金井啓子のニュースウオッチ』

大阪日日新聞『金井啓子のなにわ現代考 世界の現場からキャンパスへ』  
『金井啓子の現代進行形』

日本テレビ『世界一受けたい授業』に講師として複数回にわたって出演

関西テレビ『スーパーニュースアンカー』にコメンテーターとして複数回にわたって出演

J：COMのニュース番組『関西TODAY』にレギュラーコメンテーターとして出演

### ▼ゼミ以外の担当科目

「ジャーナリズム論」のAとB、「日本語文章力養成」のAとBなどを担当しています。「ジャーナリズム論」は、記者になろうとしている人だけではなく、その他のメディア業界で働きたい人達や、メディアの仕事はしようとしていない人達にも、ジャーナリズムとは何であるか、どんな課題があるのか、といった点を理解してもらうために行っている講義です。一方、「日本語文章力養成」は、テーマを与えてその場で作文を書いてもらう文章力を磨きつつ、就職活動にも必要とされる漢字・慣用語・ことわざなどの知識も小テストなどを通じて増やしていくという内容です。